

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
昭和54年4月17日 第3報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	19800	◎	◎
(黄鞭) <i>Dinobryon divergens</i>	40		
(珪) <i>Melosira solida</i>	80		
(珪) <i>Melosira italica</i>	640		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	40		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	160		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	40		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	320		
(渦) <i>Glenodinium</i> sp.	100		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	640		
(緑) <i>Ankistrodesmus falcatus</i> var. <i>mirabile</i>	120		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	1280	○	○
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subprorum</i>	40		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	19840	85.2	58.9
(珪) 珪藻綱	1280	5.5	9.9
(渦) 渦鞭毛藻綱	100	0.4	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	640	2.7	12.4
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	1440	6.2	18.8
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	23300	総体積 (μm^3)	8.78E+06
種類数	13		

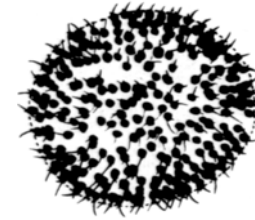
- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし * 印の種は群体数(群体/ml)
注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第 1 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
黄色鞭毛藻綱	<i>Uroglena americana</i>	19800

第 2 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	1280

植物プランクトン第1優占種



Uroglena americana
(ウログレナ)
黄色鞭毛藻綱

楕円形の細胞が球状の寒天質の表層に規則正しく配列し、球状の群体を形成する。各細胞は不等長の2本の鞭毛を有する。

植物プランクトン第2優占種



Pediastrum biwae
(ピワクンショウモ)
緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ピワクンショウモと呼ばれている。